

保育所における感染症対策ガイドライン(2018年改訂版)(2021(令和3)年8月一部改訂)の一部訂正について

ガイドライン 70 ページ

別添 2 表 3 消毒薬の種類と用途

- 1 「留意点」の次亜塩素酸ナトリウム及び亜塩素酸水の欄
「汚れ、(有機物)で消毒効果が低下する」の一文を削除
- 2 「その他の項目」の亜塩素酸水の欄
旧 「冷暗所(15℃以下)に保管」 → 新 「直射日光の当たらない涼しいところに保管」

別添 2 表 4 次亜塩素酸ナトリウム及び亜塩素酸水の希釈方法

- 3 「希釈方法」の亜塩素酸水の欄
旧 0.2% 水 1L に対して約 500mL → 新 水 1L に対して約 1L
0.05% 水 1L に対して約 125mL 水 1L に対して約 143mL

ガイドライン 88 ページ

- 4 厚生労働省・経済産業省・消費者庁「新型コロナウイルスの消毒・除菌方法について」
を添付

旧

○ガイドライン 70 ページ

別添 2 表 3 消毒薬の種類と用途

表 3 消毒薬の種類と用途

薬品名	塩素系消毒薬 (次亜塩素酸ナトリウム、亜塩素酸水等)		第 4 級アンモニウム塩 (塩化ベンザルコニウム等) ※ 1 逆性石けん又は陽イオン界面活性剤ともいう。	アルコール類 (消毒用エタノール等)
	次亜塩素酸ナトリウム	亜塩素酸水		

留意点	生しやすいので、金属には使えない。	て腐食性があるので注意する。	間浸さない。
	<ul style="list-style-type: none"> 汚れ(有機物)で消毒効果が低下する。このため、嘔吐物等を十分拭き取った後に消毒する。また、哺乳瓶は十分な洗浄後に消毒を行う。 脱色(漂白)作用がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 汚れ(有機物)で消毒効果が低下する。このため、嘔吐物等を十分拭き取った後に消毒する。また、哺乳瓶は十分な洗浄後に消毒を行う。 衣類の脱色、変色に注意。 	<ul style="list-style-type: none"> 手洗い後、アルコールを含ませた脱脂綿やウエットティッシュで拭き自然乾燥させる。

その他	直射日光の当たらない涼しいところに保管。	冷暗所(15℃以下)に保管。	希釈液は毎日作りかえる。
-----	----------------------	----------------	--------------

新

○ガイドライン 70 ページ

別添 2 表 3 消毒薬の種類と用途

表 3 消毒薬の種類と用途

薬品名	塩素系消毒薬 (次亜塩素酸ナトリウム、亜塩素酸水等)		第 4 級アンモニウム塩 (塩化ベンザルコニウム等) ※ 1 逆性石けん又は陽イオン界面活性剤ともいう。	アルコール類 (消毒用エタノール等)
	次亜塩素酸ナトリウム	亜塩素酸水		

・「汚れ、(有機物)で消毒効果が低下する」の一文を削除

留意点	<ul style="list-style-type: none"> 金属腐食性が強く、錆びが発生しやすいので、金属には使えない。 嘔吐物等を十分拭き取った後に消毒する。また、哺乳瓶は十分な洗浄後に消毒を行う。 脱色(漂白)作用がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ステンレス以外の金属に対して腐食性があるので注意する。 嘔吐物等を十分拭き取った後に消毒する。また、哺乳瓶は十分な洗浄後に消毒を行う。 衣類の脱色、変色に注意。 	<ul style="list-style-type: none"> 手洗い後、アルコールを含ませた脱脂綿やウエットティッシュで拭き自然乾燥させる。
-----	---	--	---

・前 「冷暗所(15℃以下)に保管」 → 後 「直射日光の当たらない涼しいところに保管」

その他	直射日光の当たらない涼しいところに保管。	直射日光の当たらない涼しいところに保管。	希釈液は毎日作りかえる。
-----	----------------------	----------------------	--------------

○ガイドライン 71 ページ

別添 2 表 4 次亜塩素酸ナトリウム及び亜塩素酸水の希釈方法

亜塩素酸水	・嘔吐物や排泄物が付着した床・物 ※衣類等に嘔吐物や排泄物が付着した場合はこちらの濃度で使用	0.2% (2000ppm)	水 1 L に対して約 500 mL
	・衣類等の浸け置き ・食器等の浸け置き ・トイレの便座、ドアノブ、手すり、床等	0.05% (500ppm)	水 1 L に対して約 125 mL

○ガイドライン 71 ページ

別添 2 表 4 次亜塩素酸ナトリウム及び亜塩素酸水の希釈方法

・亜塩素酸水の希釈方法を訂正

前 0.2% 水 1 L に対して約 500 mL → 後 水 1 L に対して約 1 L
0.05% 水 1 L に対して約 125 mL 水 1 L に対して約 143 mL

亜塩素酸水	・嘔吐物や排泄物が付着した床・物 ※衣類等に嘔吐物や排泄物が付着した場合はこちらの濃度で使用	0.2% (2000ppm)	水 1 L に対して約 1 L
	・衣類等の浸け置き ・食器等の浸け置き ・トイレの便座、ドアノブ、手すり、床等	0.05% (500ppm)	水 1 L に対して約 143 mL

○ガイドライン 88 ページ～

厚生労働省・経済産業省・消費者庁特設ページ「新型コロナウイルスの消毒・除菌方法について」を添付

・厚生労働省・経済産業省・消費者庁「新型コロナウイルスの消毒・除菌方法について」
(以下 HP 抜粋)

独立行政法人製品評価技術基盤機構 (NITE) が新型コロナウイルスに対する消毒方法の有効性評価をとりまとめたことをうけ、これらの結果も含め、新型コロナウイルスの消毒・除菌方法について、現在わかっていることをまとめました。

1. ウイルスを減らし感染予防をしましょう

新型コロナウイルスへの感染は、ウイルスを含む飛沫が口、鼻や眼などの粘膜に触れること、または、ウイルスがついた手指で口、鼻や眼の粘膜に触れることで起こります。

このため、飛沫を吸い込まないよう人との距離を確保し、会話時にマスクを着用し、手指のウイルスは洗い流すことが大切です。さらに、身の回りのモノを消毒することで、手指につくウイルスを減らすことが期待できます。

現在、「消毒」や「除菌」の効果をうたう様々な製品が出回っていますが、目的にあった製品を、正しく選び、正しい方法で使用しましょう。

=====